

「誰かに守ってもらおう」防災から

「自らが守る」防災へ

災害を知る

最近の災害状況

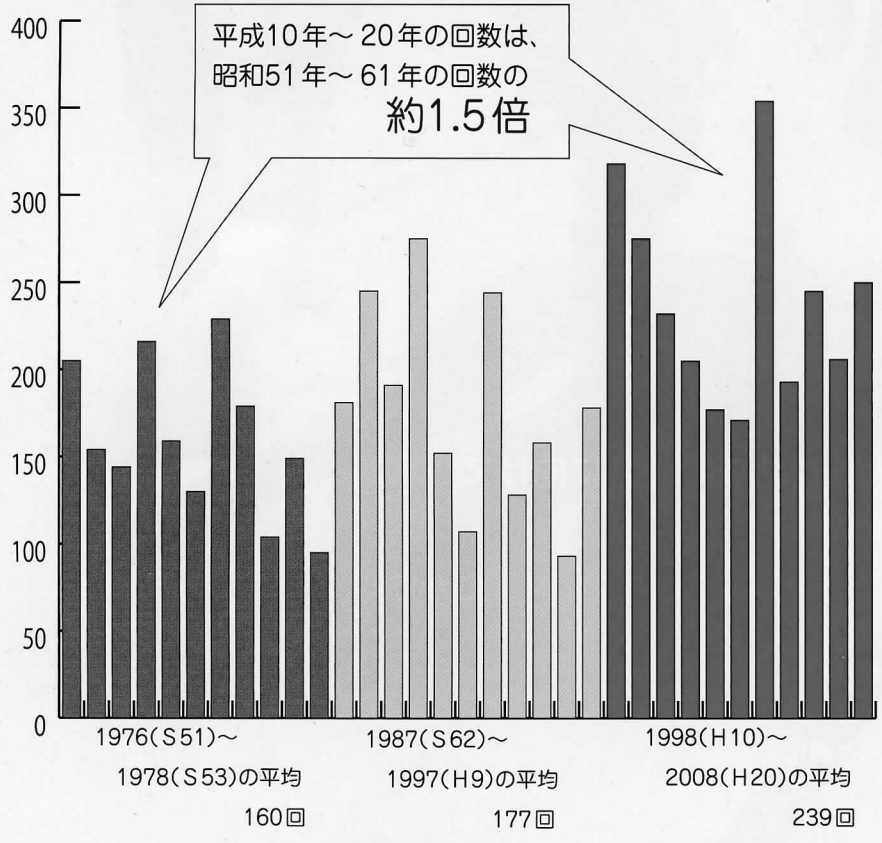
9月1日(火)は「防災の日」、8月30日(日)から9月5日(土)は「防災週間」です。災害は、いつ、どこで、どんな形で起こるか分かりません。災害から自分と家族そして地域を守るためには、日ごろからの心構えと備えが大切です。防災の日を中心に、この期間中、各地で自主防災組織などによる防災訓練が行われます。防災は災害を良く理解し、それに基づいた訓練が必要です。ぜひ、積極的に防災訓練に参加してください。

死者約6、400人という未曾有の被害が発生した平成7年1月の「阪神・淡路大震災」は、たくさんの教訓や体験を私たちに与えました。既にその風化が懸念されています。その一方で地震や台風の異常発生、集中豪雨や豪雪など、全国各地で、大規模な災害が発生

資料1 最近発生している主な大規模災害
(内閣府：平成21年度版 防災白書より)

平成16年	台風23号	兵庫県などで 死者・行方不明者98名、 浸水被害約55,000棟
	新潟県中越地震	最大震度7
平成17年	福岡県西方沖地震	最大震度6弱
	宮城県沖地震	最大震度6弱
	台風14号	宮崎県などで 死者・行方不明者29名、 浸水被害約3,000棟
平成18年	梅雨前線による豪雨	長野県岡谷市などで 死者・行方不明者33名、 浸水被害約10,000棟
平成19年	能登半島地震	最大震度6強
	新潟県中越沖地震	最大震度6強
平成20年	岩手・宮城内陸地震	最大震度6強
	岩手沿岸北部地震	最大震度6弱
	7月28日からの大雨	神戸市などで 死者6名、 浸水被害約3,000棟
	8月末豪雨	愛知県岡崎市などで 死者・行方不明者3名、 浸水被害約9,700棟

資料2 1時間あたりの降水量50mm以上の発生回数
(内閣府：平成21年度版 防災白書より)



しています(資料1)。また、少子・高齢化、都市圏の過密化と地方の過疎化、住民の「共助」意識の減、さらに、電子機器などへの過度の依存などライフスタイルの変化も災害への危険性を増加させています。このように自然環境と社会環境の変化が自然災害とその損害を変えつつあります。

ゲリラ豪雨、台風の異常発生

昨年の夏に頻発した短時間の局地的な大雨(ゲリラ豪雨)は、土石流やがけ

崩れなどの土砂災害をもたらしました。また、平成16年には、それまでの記録を大幅に更新する10個の台風が日本列島に上陸し、多大な被害をもたらしました。近年、ゲリラ豪雨は、その発生頻度が増加しており、これまで想定してこなかった新たな防災上の課題が生じてきています。気象庁が5年ごとに発行している「異常気象レポート」や国連のもとに設置された「気候変動に関する政府間パネル」の報告などによると、